

クオリティゼミナール

Quality Seminar

「先生、物理学年1位 獲りました!!」

学校は友達と楽しむところがモットーの生徒さん。せっかくの学校の授業を少しいい加減にすることもあったようです。物理の電磁気が試験範囲のとき基礎知識がゼロに近い状態からからの指導でしたが、「電磁気は難しいけど、ちゃんとやったら今度こそ学年1位獲れるから頑張ろう。」と励ましながら一緒に勉強したものです。そして遂に念願の1位を獲ってきたのです。

彼がクオリティゼミナールに通い始めたのは小学2年生の頃でした。やんちゃな盛りで勉強どころではありません。教室に入るなり、「勉強したくない。」と言い放つ豪胆というか、子どもらしいのです。そんな彼に無理やり勉強を押し付けても、かえって勉強嫌いになるのは目に見えていましたから、外で自然観察や太陽光をレンズで集め鉛筆で黒く塗った紙を燃やす等、様々な実験をやりました。彼の興味に合わせた個別カリキュラムです。教室に入るなり、「先生、実験しょ!」が随分長く続きました。それでも5年生になるまで

に6年生の算数までゆっくり勉強できていたので、中学入試問題の難問を1問あたり40分くらい考える力がついていました。解いたらご褒美の実験といった日々を過ごしたのです。

息子には好きと思えるものを見つけてほしい

致遠館中学では、部活停止など不名誉な勲章をいただき、学校の先生方には随分とご迷惑をおかけしたようです。それでも致遠館高校ではバスケット部のキャプテンを務めスポーツでも活躍しました。

お父さまと進路について話し合いを重ねました。私としては、いつか言い出すかもしれない「医師になりたい。」に備えてカリキュラムを組んでいたのですが、一向にそのような気配はないのです。お父さまは「息子が好きって思えるものを見つけてくれたらいいと思っています。これからの医療界は変わります。今までの様にはいきません。息子にそれを望むこともありません。先生、息子がワクワクするようなものに会えるように勉強もですが、いろんな社会のことも教えて頂けますか。それと親の言

人間性 ベースは

うことはまったく聞かないので、ご迷惑をおかけしますがよろしくお導き下さい。」とおっしゃったのです。以来、彼には社会の仕組みや仕事についても教えました。志望校も九州大学から早稲田大学に変更しました。九州より東京で生活し、アメリカの大学に留学するという目標が定まったのです。受験は大変でしたが彼は努力しました。受験勉強の際に、小学生のころから考える力を養っていたことが功を奏しました。晴れて早稲田大学に合格して1年生の時は、遊びまくっていたの

は言うまでもありません。いつLINEをしても秒で返事が来るのです。仕事ができる人の返信は早いのですが、彼は24時間体制で遊んでいるので早いのです。

人によって 態度を変えない

今の時代、人と関わるのが苦手な生徒さんが多いように思います。現実の関わりよりもSNSの世界での結びつき方が楽なのでしょう。彼のような「いろんな人というのが楽しい。出会いが面白い。」という方が少数派なのかもしれません。

そんな彼を指導しやすかったのは、素直に自分の考えや状況を話してくれたからです。分らないことも恥をかくようなことも伝えてくれました。また、他者を尊重し、楽しませ、心が弱っている友達には傍についてあげていたものです。決して人によって態度を変えるような人間ではありませんでした。また不機嫌な態度を見せたこともありません。安定した精神状態を保つ能力を身につけていたのですね。

偏差値や学歴によって人は評価したりするものですが、彼を見ていると「人間性」こそが人のベースであるし、それができていれば勉強も自然とついてくると思えますね。彼は間違いなく仕事でも責任ある立場になっていくでしょう。人間性に最も影響を与えるのは、やはり家族ですからね。彼を立派に育てられたご両親こそが素晴らしいですね。



池松英治 (いけまつ ひではる)
クオリティゼミナール塾長
社会福祉法人ガジュマル理事。ひよ子子ども園園長。
小学生から大学受験まで指導。勉強が苦手な生徒さん、支援が必要な生徒さんを丁寧に指導。不登校の生徒さん及びご家族と向き合い復活させている。ここ6年で6人の医学部医学科合格。

